

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 29 日(2022.7.29)

【公開番号】特開 2020-99554(P2020-99554A)

【公開日】令和 2 年 7 月 2 日(2020.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2020-026

【出願番号】特願 2018-240534(P2018-240534)

【国際特許分類】

A 4 7 L 11/24(2006.01)

10

A 4 7 L 9/28(2006.01)

B 0 8 B 1/04(2006.01)

B 0 8 B 7/04(2006.01)

A 4 7 L 13/16(2006.01)

【F I】

A 4 7 L 11/24

A 4 7 L 9/28 E

B 0 8 B 1/04

B 0 8 B 7/04 A

A 4 7 L 13/16 A

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 21 日(2022.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明では、ローラーを用いて床面を拭くため、従来のパッドを用いて床面を清掃する際に、パッドの特定の部分のみ汚れる事をできるだけ回避することができる。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

図 4 において、本体 1 前方に形成されたローラー装着部 18 にローラー 16 が着脱可能に装着される。また、ローラー装着部 18 の内、図 4 紙面左側には、ローラー 16 を回転自在に支持するローラー支持部材 19 が配置されており、図 4 紙面右側には、ローラー蓋を

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

図 5 に示すように、図 5 中紙面右側に存在するローラー開口部がローラー蓋 20 により塞がれている。このように、本実施例装置では、図 1 に示す本体 1 の、図 1 紙面右側の側面ではローラー 16 部分が隠れているが、本体 1 の、図 1 紙面左側の側面では、ローラー 1

50

6 をローラー装着部 18 に装着した状態でローラー蓋 20 が外部に露出するようになっている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

ベース 23 の前方側にはローラー装着部 18 が形成されている。また、ローラー装着部 18 の図 6 紙面右側後方には、ローラー 16 を回転駆動させるためのローラーモータ 25 が配置されている。一方、ローラー装着部 18 の図 6 紙面左側後方には、噴水孔 22 から水を放出するためのポンプ 26 (図 6 中では図示せず) が配置されている。このポンプ 26 は、例えば電気により駆動するポンプモータを有している。

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

より具体的には、図 13 に示すローラー 16 の下方にシート 34 が配置されており、ローラー 16 を図 13 において、反時計回りに回転させて、ローラー 16 にシート 34 を巻き付ける場合、起毛部 33 の毛 40 は、ローラーの下方側、即ちシート 34 側に向けて傾いている。

20

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

一方、ローラー 16 からシート 34 を外す場合には、ローラー 16 を図 13 において時計周りに回転させ、本体 1 に設けられたベロ 15 によりシートがはがれるようになっている。尚、この時、毛 40 が傾いている方向からベロ 15 がシート 34 に当たり、ベロ 15 の先端が毛 40 の先端に当接すると毛 40 が起き上がり、シート 34 が容易にローラー 16 からはがれるようになっている。

30

40

50